

I 令和2年4月以降の新型コロナウイルス感染症の影響による地域一斉の休業期間のうち(※)、学校の全部を休業としていた期間(臨時休業期間)中のことをお答えください。※全面再開後に感染者が発生した等の理由により個別に行われた臨時休業は含みません。

問1 小学校第5学年・中学校第2学年について臨時休業期間中の家庭学習はどのような範囲で課しましたか。該当するものをすべて選んでください(前学年とは令和元年度の学年、今学年とは令和2年度の学年を指します)。

- 1 前学年の指導の範囲(指導済の範囲)
- 2 前学年の指導の範囲(未指導の範囲)
- 3 今学年の指導の範囲
- 4 その他

問2 臨時休業期間中の小学校第5学年・中学校第2学年の学習状況や生活状況について、平均してどのくらいの頻度で把握してきましたか。最も近いもの1つを選んでください。

- 1 平日に毎日おこなった
- 2 週に数回程度おこなった
- 3 週に1回程度おこなった
- 4 2週間に1回程度おこなった
- 5 その他
- 6 把握してこなかった

問3 臨時休業期間中について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか。それぞれについて、あてはまるものを選んでください。

	あてはまる	あてはまる やや	あまり あてはまらない	あてはまらない
ア) 教職員間のコミュニケーションが不足していた →	1	2	3	4
イ) 児童・生徒と教職員との間のコミュニケーションが不足していた →	1	2	3	4
ウ) 保護者と教職員との間のコミュニケーションが不足していた →	1	2	3	4
エ) 児童・生徒同士間のコミュニケーションが不足していた →	1	2	3	4
オ) 教職員の人員が不足していた →	1	2	3	4
カ) 教職員の労働時間が新型コロナウイルス感染症流行前よりも長くなっていた →	1	2	3	4
キ) 教職員の業務量が新型コロナウイルス感染症流行前よりも多くなっていた →	1	2	3	4
ク) 心身の不調を訴える教職員が多くなっていた →	1	2	3	4
ケ) 養護教諭との連携がうまくできていなかった →	1	2	3	4
コ) スクールカウンセラーとの連携がうまくできていなかった →	1	2	3	4
サ) スクールソーシャルワーカーとの連携がうまくできていなかった →	1	2	3	4
シ) 教育委員会との連携がうまくできていなかった →	1	2	3	4

問5 全面再開後（1か月程度）について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか。それぞれについて、あてはまるものを選んでください。

	あてはまる	あてはまる やや	あまり あてはまらない	あてはまらない
ア) 教職員間のコミュニケーションが不足していた →	1	2	3	4
イ) 児童・生徒と教職員との間のコミュニケーションが不足していた →	1	2	3	4
ウ) 保護者と教職員との間のコミュニケーションが不足していた →	1	2	3	4
エ) 児童・生徒同士間のコミュニケーションが不足していた →	1	2	3	4
オ) 教職員の人員が不足していた →	1	2	3	4
カ) 教職員の労働時間が新型コロナウイルス感染症流行前よりも長くなっていた →	1	2	3	4
キ) 教職員の業務量が新型コロナウイルス感染症流行前よりも多くなっていた →	1	2	3	4
ク) 心身の不調を訴える教職員が多くなっていた →	1	2	3	4
ケ) 養護教諭との連携がうまくできていなかった →	1	2	3	4
コ) スクールカウンセラーとの連携がうまくできていなかった →	1	2	3	4
サ) スクールソーシャルワーカーとの連携がうまくできていなかった →	1	2	3	4
シ) 教育委員会との連携がうまくできていなかった →	1	2	3	4

問6 小学校第5学年・中学校第2学年の臨時休業期間中における家庭学習の内容について、再度授業で取り扱った内容がどの程度ありますか。最も近いもの1つを選んでください。

- | |
|----------------------------------|
| 1 再度授業で取り扱った内容はない |
| 2 再度授業で取り扱った内容はほとんどない（概ね4分の1程度） |
| 3 再度授業で取り扱った内容が半分程度である |
| 4 再度授業で取り扱った内容がほとんどである（概ね4分の3程度） |
| 5 家庭学習の内容は全て授業で取り扱った |

問7 小学校第5学年・中学校第2学年の生活の状況等について、それぞれの時期におこなっていた（おこなう予定である）ものをすべて選んでください。

※ここでの「状況把握」とは、原則としてすべての児童生徒を対象とし、アンケートやチェックリストの活用、面談の実施、テストでの測定などの方法により、記録が残る形で実施するものを指します。日常的な観察による把握や個別の相談への対応等は含まないものとします。

※いずれも該当しない場合にはそのまま次にお進みください。

	臨時休業期間	概ね一学期間	概ね二学期間	概ね三学期間（予定を含む）
ア) 児童生徒の悩み事やストレスの度合い等の状況把握 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
イ) 児童生徒の生活リズムの乱れの把握 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ウ) 児童生徒の家庭等での運動習慣の状況把握 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エ) 児童生徒の体力の状況把握 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
オ) 児童生徒の保護者との関係性等家庭内での課題等の把握 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問8 現在の授業や家庭学習における ICT の活用について、あなたの学校ではどのような課題がありますか。それぞれについて、あてはまるものを選んでください。

	あてはまる	あてはや あてはまる	あてあまり あてはまらない	あてはまらない
ア) 学校 (送信側) の PC (タブレット端末を含む) が不足している →	1	2	3	4
イ) 学校の周辺機器 (Web カメラやスキャナなど) が不足している →	1	2	3	4
ウ) 学校のネットワーク環境 (無線 LAN など) が整っていない →	1	2	3	4
エ) 学校のインターネット接続の通信速度が不十分である →	1	2	3	4
オ) 規則等 (セキュリティポリシー等) が整っていない →	1	2	3	4
カ) 市町村教育委員会や学校のシステム (センターサーバーの容量等) が不十分である →	1	2	3	4
キ) 教員の ICT 活用のスキルが不足している →	1	2	3	4
ク) 家庭 (受信側) の PC (タブレット端末、スマートフォンを含む) が不足している →	1	2	3	4
ケ) 家庭の周辺機器 (Web カメラなど) が不足している →	1	2	3	4
コ) 家庭の通信環境 (無線 LAN など) が整っていない →	1	2	3	4
サ) ICT 活用に対して教職員から協力を得るのが難しい →	1	2	3	4
シ) ICT 活用に対して保護者から支援を得るのが難しい →	1	2	3	4
ス) ICT 活用について教育委員会が積極的ではない →	1	2	3	4
セ) ICT 活用の必要性を校長として十分には感じていない →	1	2	3	4
ソ) オンラインでの配信や Web 上での学習のための教材が不足している →	1	2	3	4

問9 臨時休業の前（令和2年1月）と比べて、あなたの学校の現在の児童生徒の様子はいかがですか。それぞれについて、あてはまるものを選んでください。

減った		変わらない		増えた
1	2	3	4	5

		減った		変わらない		増えた
ア) 遅刻・早退する児童生徒 →	1	2	3	4	5	
イ) 学校を休む児童生徒 →	1	2	3	4	5	
ウ) 不登校や学校を休みがちだった児童生徒の登校 (別室登校を含む) →	1	2	3	4	5	
エ) 生活リズムが崩れている児童生徒 →	1	2	3	4	5	
オ) 元気がない児童生徒 →	1	2	3	4	5	
カ) イライラしている児童生徒 →	1	2	3	4	5	
キ) 学習の遅れの不安を訴える児童生徒 →	1	2	3	4	5	
ク) 保健室に来室する児童生徒 →	1	2	3	4	5	
ケ) 家庭のことについて相談する児童生徒 →	1	2	3	4	5	

問10 現在について、あなたの学校にはどのような課題がありますか。それぞれについて、あてはまるものを選んでください。

	あてはまる	あてはまる やや	あまり あてはまらない	あてはまらない
ア) 教職員間のコミュニケーションが不足している →	1	2	3	4
イ) 児童・生徒と教職員との間のコミュニケーションが不足している →	1	2	3	4
ウ) 保護者と教職員との間のコミュニケーションが不足している →	1	2	3	4
エ) 児童・生徒同士間のコミュニケーションが不足している →	1	2	3	4
オ) 教職員の人員が不足している →	1	2	3	4
カ) 教職員の労働時間が新型コロナウイルス感染症流行前よりも長くなっている →	1	2	3	4
キ) 教職員の業務量が新型コロナウイルス感染症流行前よりも多くなっている →	1	2	3	4
ク) 心身の不調を訴える教職員が多くなっている →	1	2	3	4
ケ) 養護教諭との連携がうまくできていない →	1	2	3	4
コ) スクールカウンセラーとの連携がうまくできていない →	1	2	3	4
サ) スクールソーシャルワーカーとの連携がうまくできていない →	1	2	3	4
シ) 教育委員会との連携がうまくできていない →	1	2	3	4

問11 次の学校行事や活動について、令和2年度に新型コロナウイルス感染症対策として、どのような対応を行いましたか（または行う予定ですか）。それぞれについて、あてはまるものを選んでください。（2，3，4は複数回答可）

		年度当初の計画通りに実施（予定含む）	規模を縮小して実施（予定含む）	行先や時期を変更して実施（予定含む）	内容や方法を工夫して実施（予定含む）	中止した（予定含む）	実施について検討中
ア) 入学式	→	1	2	3	4	5	
イ) 卒業式	→	1	2	3	4	5	6
ウ) 運動会（体育祭）、競技会、球技会	→	1	2	3	4	5	6
エ) 音楽会・合唱コンクール	→	1	2	3	4	5	6
オ) 学芸会・文化祭	→	1	2	3	4	5	6
カ) 遠足	→	1	2	3	4	5	6
キ) 芸術鑑賞会	→	1	2	3	4	5	6
ク) 職場見学・職場体験活動	→	1	2	3	4	5	6
ケ) 修学旅行	→	1	2	3	4	5	6
コ) 集団宿泊活動（修学旅行以外）	→	1	2	3	4	5	6
サ) 授業参観・学校公開	→	1	2	3	4	5	6
シ) 児童会・生徒会主催の対面での集会活動	→	1	2	3	4	5	6
ス) グループワーク等の集団で行う学習活動	→	1	2	3	4	5	6
セ) ディスカッション等の発話を伴う学習活動	→	1	2	3	4	5	6
ソ) 定期的な学力テスト（定期試験）※中学校のみ	→	1	2	3	4	5	6
タ) 対面での保護者会	→	1	2	3	4	5	6
チ) 教員の授業研究会・校内研修会	→	1	2	3	4	5	6

Ⅲ 回答者（校長）およびあなたの学校についてお尋ねします。

問12 校長先生ご自身のことについて、以下のA～Eまでの項目についてあてはまるものを選ぶか、数字を記入してください。

- A) 性別 1. 男性 2. 女性
- B) 年齢 () 歳
- C) 本校への着任時期 西暦 () 年 () 月
- D) 校長としての通算勤務年数 () 年
- E) 教員としての通算勤務年数（教育委員会の指導主事等としての年数を含む）
() 年

問13 あなたの学校のスタッフについて、「ア）臨時休業期間中」と「イ）現在」の人数をそれぞれ数字で記入してください。なお、配置されていない場合は「0」をご記入ください。

C)～H)については、週あたりの総労働時間（その種類のスタッフ全員の勤務時間を合算したもの）を数字で記入してください。

ア) 臨時休業期間中

- A) 専任の教員（本務教員） () 人
- B) 臨時的任用教員 () 人
- C) 非常勤講師 () 人 週合計 () 時間
- D) 学習指導員 () 人 週合計 () 時間
- E) スクール・サポート・スタッフといった補助員 () 人 週合計 () 時間
- F) スクールカウンセラー () 人 週合計 () 時間
- G) スクールソーシャルワーカー () 人 週合計 () 時間
- H) ICT 支援員、GIGA スクールサポーター等の ICT 人材
() 人 週合計 () 時間

イ) 現在

- A) 専任の教員（本務教員） () 人
- B) 臨時的任用教員 () 人
- C) 非常勤講師 () 人 週合計 () 時間
- D) 学習指導員 () 人 週合計 () 時間
- E) スクール・サポート・スタッフといった補助員 () 人 週合計 () 時間
- F) スクールカウンセラー () 人 週合計 () 時間
- G) スクールソーシャルワーカー () 人 週合計 () 時間
- H) ICT 支援員、GIGA スクールサポーター等の ICT 人材
() 人 週合計 () 時間

問 14 あなたの学校では、以下のことがどの程度あてはまりますか。それぞれについて、あてはまるものを選んでください。

	あてはまる 非常によく	あてはまる	あてはまらない	まったく あてはまらない
ア) 教職員が学校的意思決定に積極的に参加する機会を提供している →	1	2	3	4
イ) 重要な意思決定は校長のリーダーシップのもとにおこなう →	1	2	3	4
ウ) 教職員は、指導や学習についての信念を共有している →	1	2	3	4
エ) 教職員が率先して新しい試みをするよう促している →	1	2	3	4
オ) 教育委員会からの要求にそのつど対応することを重視している →	1	2	3	4
カ) ICTの積極的な活用を重視している →	1	2	3	4
キ) 児童生徒が学校の規律を守ることを重視している →	1	2	3	4
ク) 保護者の懸念に対処することを重視している →	1	2	3	4
ケ) 周りの学校との足並みをそろえることを重視している →	1	2	3	4
コ) 学校は、必要な場合には、変化に即座に対応する →	1	2	3	4
サ) 学校は、新しいアイデアをちゅうちょなく受け入れる →	1	2	3	4
シ) 保護者は学校の活動に参加している →	1	2	3	4
ス) 学校は地域のコミュニティと協力している →	1	2	3	4
セ) 教員は、児童生徒の成績に高い期待を抱いている →	1	2	3	4
ソ) 保護者は、児童生徒が良い成績を修めるよう期待している →	1	2	3	4

問 15 今年度のあなたの学校には、以下のことがあてはまりますか。それぞれについて、あてはまるものを選んでください。

		あてはまる	あてはまらない
ア) 学校選択制が導入されている地域	→	1	2
イ) 地域学校協働本部などの学校と地域が連携・協働する体制がある	→	1	2
ウ) コミュニティ・スクールである（学校運営協議会が設置されている）	→	1	2
エ) 小中一貫校（あるいは義務教育校）	→	1	2
オ) 文部科学省の研究指定校	→	1	2
カ) 文部科学省以外の研究指定校	→	1	2

問 16 あなたの学校では臨時休業期間前（2019 年度・令和元年度）に、小学校第 5 学年・中学校第 2 学年について下記の実践をおこないましたか。それぞれについて、あてはまるものを選んでください。

		実施していた	すべての学級で実施していた	一部の学級で実施していた	実施していない
ア) 平日の朝読書	→	1	2	3	
イ) 平日の朝学習（ドリルなど）	→	1	2	3	
ウ) 平日の放課後の補習	→	1	2	3	
エ) 土曜日の補習	→	1	2	3	
オ) 少人数指導（※）	→	1	2	3	
カ) 少人数指導のうちの習熟度別指導	→	1	2	3	
キ) ティーム・ティーチング	→	1	2	3	
ク) 児童生徒による授業評価	→	1	2	3	

※例えば、①2 学級を 3 つの学習集団に分けるなど学級の枠を越えて学習集団を編成し、それぞれの学習集団を異なる教師が指導する場合、②1 学級を 2 つ以上の学習集団に分け、それぞれを異なる教師が指導する場合など、通常の学級集団よりも小さい学習集団を編成して指導を行う場合をすべて含む。また、年間を通して実施するものだけでなく、特定の単元や特定の時期のみ実施するものも含む。なお、複式学級で学年ごとの学習集団に分けて異なる教師が指導を行う場合、いわゆる「取り出し指導」（一人の児童生徒を対象に行う）を行う場合、自治体の施策として少人数学級を編成している場合は除く。

問 17 あなたの学校では現在、小学校第 5 学年・中学校第 2 学年について下記の実践をおこなっていますか。それぞれについて、あてはまるものを選んでください。

		実施している すべての学級で	実施している 一部の学級で	実施していない
ア) 平日の朝読書	→	1	2	3
イ) 平日の朝学習（ドリルなど）	→	1	2	3
ウ) 平日の放課後の補習	→	1	2	3
エ) 土曜日の補習	→	1	2	3
オ) 少人数指導（※）	→	1	2	3
カ) 少人数指導のうちの習熟度別指導	→	1	2	3
キ) ティーム・ティーチング	→	1	2	3
ク) 児童生徒による授業評価	→	1	2	3

※例えば、①2学級を3つの学習集団に分けるなど学級の枠を越えて学習集団を編成し、それぞれの学習集団を異なる教師が指導する場合、②1学級を2つ以上の学習集団に分け、それぞれを異なる教師が指導する場合など、通常の学級集団よりも小さい学習集団を編成して指導を行う場合をすべて含む。また、年間を通して実施するものだけでなく、特定の単元や特定の時期のみ実施するものも含む。なお、複式学級で学年ごとの学習集団に分けて異なる教師が指導を行う場合、いわゆる「取り出し指導」（一人の児童生徒を対象に行う）を行う場合、自治体の施策として少人数学級を編成している場合は除く。

問 18 あなたの学校では臨時休業期間前（2019 年度・令和元年度）に、小学校第 5 学年・中学校第 2 学年について次のような学校外の人びとの参画を得ていましたか。ア）～オ）のうち参画を得ていた人びとすべてにチェック（☑）をしてください（Ⅰ）。また参画を得ていた場合には、その内容としてあてはまるものをすべて選んでください（Ⅱ）。

※いずれも該当しない場合にはそのまま次にお進みください。

	□ 参画を得ていた 人びとに チェック		Ⅱ 内容（参画を得ていたものをすべて選択）					
			授業中の補助	授業のゲスト ・ティーチャー ・出前授業	特別な支援が必要 な児童生徒の補助	動の指導・補助	クラブ活動・部活	清掃活動・消毒
ア) 保護者	□	→	□	□	□	□	□	□
イ) 地域住民	□	→	□	□	□	□	□	□
ウ) NPO の人材	□	→	□	□	□	□	□	□
エ) 民間企業の人材	□	→	□	□	□	□	□	□
オ) 大学教員	□	→	□	□	□	□	□	□

問 19 あなたの学校では今年度、小学校第 5 学年・中学校第 2 学年について次のような学校外の人びとの参画を得ていましたか。ア）～オ）のうち参画を得ていた人びとすべてにチェック（☑）をしてください（Ⅰ）。また参画を得ていた場合には、その内容としてあてはまるものをすべて選んでください（Ⅱ）。

※いずれも該当しない場合にはそのまま次にお進みください。

	□ 参画を得ていた 人びとに チェック		Ⅱ 内容（参画を得ていたものをすべて選択）					
			授業中の補助	授業のゲスト ・ティーチャー ・出前授業	特別な支援が必要 な児童生徒の補助	動の指導・補助	クラブ活動・部活	清掃活動・消毒
ア) 保護者	□	→	□	□	□	□	□	□
イ) 地域住民	□	→	□	□	□	□	□	□
ウ) NPO の人材	□	→	□	□	□	□	□	□
エ) 民間企業の人材	□	→	□	□	□	□	□	□
オ) 大学教員	□	→	□	□	□	□	□	□

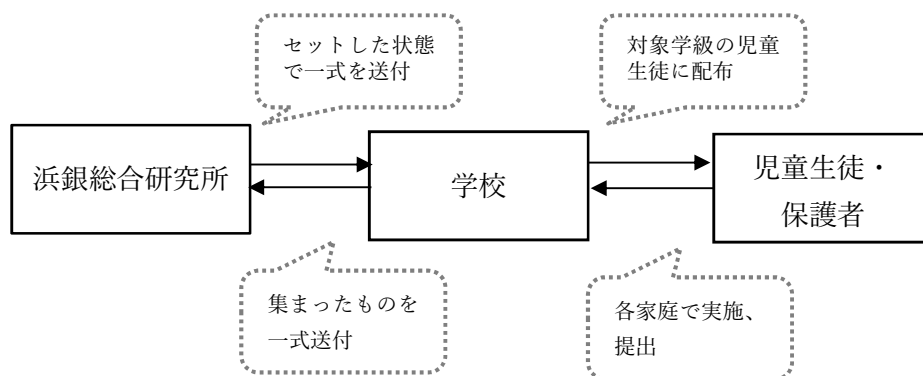
おわりに

- ・今回ご依頼している「学校調査」とは別に、令和3年2月に実施を予定している「児童生徒・保護者調査」への御協力の可否についてお尋ねします。
- ・調査に御協力いただける学校を対象に、下記の想定で、紙媒体の調査票により、郵送配布・郵送回収での実施を予定しています。
- ・なお、令和3年度も同様の調査実施を予定しており、児童生徒に対する新型コロナウイルス感染症の影響について、継続調査により分析等を行う予定です。御協力いただいた学校には、全体の集計結果とは別に、都道府県別・学校別等の集計結果や、令和2年度から令和3年度の変化等が把握できる資料をお送りさせていただく予定です。

貴校では下記のような調査に御協力いただくことはできますか。

- | |
|----------|
| 1 可能である |
| 2 不可能である |

【「児童生徒・保護者調査」実施の想定】



- ・対象は小学5年生・中学2年生とその保護者としています。(各学校につき1~2クラスを対象とさせていただくことを想定しています。)
- ・各調査の回答にかかる時間は20分程度と考えており、回答は原則として各家庭で行っていただくことを想定しております。学校で配付・回収をお願いしたく考えておりますが、児童生徒・保護者の回答は任意のものです。回収数のカウントや督促、回答内容の確認等をしていただく必要はございません。
- ・調査では家庭の状況や保護者の就業状況、児童生徒のクラス番号・出席番号等の情報を尋ねる項目を設ける予定ですが、調査実施機関である浜銀総合研究所が個人を特定できる形で情報を取得することはありません。
- ・返送に係る費用は浜銀総合研究所が負担します。
- ・文部科学省ではエビデンスに基づく政策の推進を重視しており、本調査も歴史的な事象である新型コロナウイルス感染症による児童生徒の学習面、心理面等への影響等を分析する重要な調査と考えております。ぜひ調査に御協力をお願いします。

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。